



学校法人 昭和大学
発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部 50円 毎月1回発行

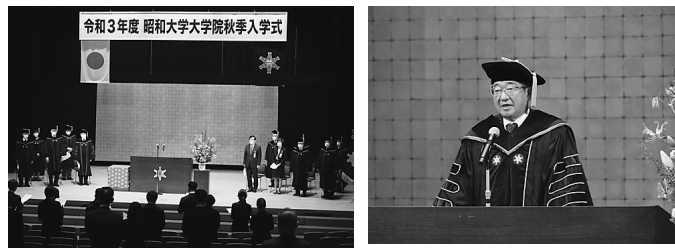
12月号の内容
1面
・昭和大学大学院秋季入学式
・解剖慰霊祭
・総合型選抜入試・推薦入試・編入学入試を実施
・臨床薬理研究所10周年記念式典開催
・須田立雄名誉教授が令和3年度文化功労者顕彰を受賞
2面
・令和3年度永年勤続者表彰
・亀井大輔准教授が日本薬学会教育学会教育実践奨励賞を受賞
・中野裕佳子助教が優秀発表賞を受賞
3面
・学生研修報告
・歯学部6年高橋寛大さんが重力と硬組織形成の関係の解剖学原論文を発表
・医学部6年横塚紳之介さんの英語症例報告が呼吸器系国際誌に掲載
4面
・第61回旗ヶ岡祭開催
・児童に医療系の仕事を紹介
・昭和大リカレントカレッジ秋期プログラム開講
・就任のお知らせ
・昭和大各附属病院へのご支援の御礼
・昭和大サポート寄付金寄付者氏名

【問合せ先】
【本紙について：総務課大学広報係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付について：企画課】
03-3784-8387
【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】
03-3784-8022(旗の台)
0555-22-4403(富士吉田)
045-985-6503(横浜)
03-3784-8026(入学支援課)

昭和大学臨床薬理研究所
10周年記念式典を開催
断学部門も新設され、昭和大学における臨床研究の中心的な役割を担うとともに、社会的関心や期待も高まっている。

昭和大学大学院
秋季入学式

10月4日、令和3年度昭和大学大学院秋季入学式を上條記念館で挙行了。今年度は医学研究科7名、歯学研究科2名、薬学研究科3名、保健医療学研究科の博士前期課程10名、同後期課程3名が入学した。久光正学長は告辞で「大学院は、未だ知られていない事実・医療を研究し、論文として世に公表し、技術を進歩させる場です。これから様々なテーマの研究を、失敗を重ね改善し、また下



式典の様子 告辞を述べる久光正学長

解剖慰霊祭

10月19日、令和3年度解剖慰霊祭を上條記念館にてしめやかに執り行った。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、必要な措置を講じたうえで一部の教職員と学生代表のみが参加した。解剖慰霊祭は医療の進歩のため、ご献体された故人の遺徳を偲び感謝する式典。令和2年9月1日から令和3年3月31日までにご献体いただいた96柱の霊位が祀られ、参列者からご尊霊に對し、黙祷が捧げられた。

その後、参列者全員が祭壇に献花を行い、ご冥福をお祈りした。式典では、美島健二教授(歯学部口腔病理学)が「本講座(歯学部口腔病理学)が、本学学生にとって、亡くなられた方の人体を使い実際の構造を観察する解剖学実習・見学は欠くことができない授業となっております。医学教育と医療の発展のために解剖を承諾され、ご遺体を供して崇高なるご遺志を示された諸霊に感謝いたします。医療発展のために真

なる発展のため、深いご理解の下ご献体くださいました皆様、並びにご遺族の皆様、限らない感謝の気持ちを捧げるとともに、我々の目指す医療人像に向け、精進して参ります」と弔辞を述べた。また、医学部と歯学部の学生代表が「新型コロナウイルスにより医療の進歩を実感するとともに、この新たな時代のなか、私たちは、社会に役立つ優れた医療人を目指し勉学に励んでおります。その中で特に解剖学実習は自らの目で見て、触れることで知識の習得を図るだけでなく、将来医療に携わる者としての自覚や人間性を培うために、なくてはならない実習です。医療のさら

総合型選抜入試・推薦入試・編入学入試を実施

令和4年度総合型選抜入学試験、学校推薦型選抜入学試験、卒業生推薦入学試験、編入学試験を旗の台キャンパスで実施し、合格者が決定した。医学部附属看護専門学校でも推薦入学試験、学士・短大学士選抜入学試験を実施し、今年も多く志願者が集まった。詳細は表のとおり。

Table with columns: 学部, 試験日, 募集人員, 志願者数, 合格者数. Rows include 歯学部, 薬学部, 保健医療学部 (看護学科, 理学療法学科, 作業療法学科).

推薦入試・編入学入試結果

Table with columns: 学部, 試験区分, 試験日, 募集人員, 志願者数, 合格者数. Rows include 医学部, 歯学部, 薬学部, 保健医療学部 (看護学科, 理学療法学科, 作業療法学科).

※1 特別協定校のみ ※2 特別協定校・指定校を含む ※3 特別協定校を含む

Table with columns: 試験区分, 試験日, 募集人員, 志願者数, 合格者数. Rows include 医学部附属看護専門学校 (推薦, 学士).

須田立雄名誉教授が令和3年度文化功労者顕彰を受賞
須田立雄名誉教授は、基礎歯学・生化学の分野において、我が国の骨代謝研究を黎明期から支え、ビタミンDの代謝調節やその臨床応用等に取り組み、強力な生理作用を持つ活性型ビタミンDを構造決定し、骨粗鬆症の基本的な治療薬となる合成誘導体を考案した。また、破骨細胞誘導因子ODF/RANKLを発見するなどの顕著な業績を上げ、斯学の発展に多大な貢献をした功績が評価され、このたびの受賞となった。

挨拶を述べる小林真一所長

学生研修報告

Tokyo Global Gateway 国内グローバル体験プログラム

国際交流センターでは、新たな取り組みとして、東京英語村 Tokyo Global Gateway（お台場）でのグループワークと、フィリピンセブ島とオンラインで繋ぐロジカルスピーキングを学ぶ国内グローバル体験プログラム（8月10-17日）を提携し、10名の学生が参加した。

小森 巨（歯学部2年）

今回、私が夏休みの期間にTGGへ参加しようと思った理由は、これからグローバル化していく社会にはロジカルスピーキングの力が必ず必要となってくると思ったからです。ロジカルスピーキングは、一旦自分が伝えたいことの優先順位を決めて話すことにより、相手に自分は何を最も伝えたいのかということを効率的に伝えることができます。今回のTGGでは、二つのことを経験することができました。一つは、定められた話題について純粋なロジカルスピーキングの力を鍛えることができるプログラムの中で、自分の意見をまとめることの大切さを経験することです。この経験により、最も伝えたい内容を、頭の中で一回英語語として順序立てておくことで、議論を滞ることなく行える



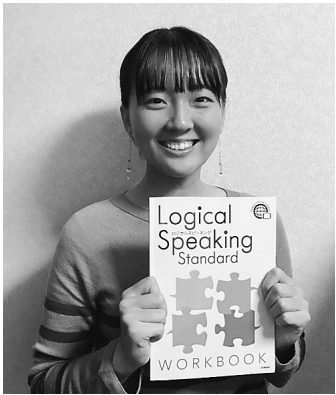
赤石 成美（薬学部4年）

今回のプログラムを通して、論理的に自分の意見を述べることの難しさを実感しました。議論のテーマは身近なものでしたが、中には日本語でも伝えることが難しいものもありました。将来、現在より多くの場面で意見を求められると思います。その中で「論理的に伝える」ということが大切であり、自身の今後の学びにおいて必要だと思いました。そのためには自分の知識、語彙力などを磨く必要があります。さらにその知識などを用いてディベートなどを行うといったコミュニケーション能力の向上もできた良いと思います。また、オンラインでも英語を学ぶことは十分にできることを実感しました。私は、英語力の向上には対面の英会話が一



戸田 成美（保健医療学部 作業療法学科2年）

私は将来国境を越えて仕事ができることから、今回のTGG国内グローバル体験研修に参加しました。ロジカルスピーキングレッスンでは、主張だけでなく根拠も述べなければならぬため、英語の論述力を強化することができました。意見を述べる際にどのような文章構成をしたらよいのか、また普段よく使う日本語での接続詞を英語ではどのように使うのだろうか、英語に向き合う時間が増えました。普段、私は



歯学部6年 高橋夏大さんが原著論文を発表

重力と硬組織形成の関係を解明

高橋夏大さん（歯学部6年）の英語原著論文「Investigation of osteogenesis changes in medaka larvae reared in normal gravity, simulated-microgravity and hypergravity environments（通常の重力、模擬微小重力、過重力環境下で飼育したメダカ稚魚における骨形成変化の解析）が日本宇宙生物科学会発行の国際誌「BioGlobal Sciences in Space」に掲載された。

高橋さんは歯学研究科のマルチ・ドクター・プログラムを履修し、歯学部歯科薬理学講座・薬理科学研究センターの茶谷昌宏講師（専門：宇宙医学）の指導のもとで約2年半に渡って研究を進め、第一著者として本論文を発表した。

本論文は、骨や歯などの硬組織形成において重力が担う役割の解明を目的として、遺伝子組換えメダカを様々な大きさの重力下で飼育し、硬組織形成やそれに関与する細胞に生じた変化を解析したものである。この研究ではJAXAが開発した生体用遠心装置や微小重力装置を使用した。研究成果は、硬組織形成メカニズムの理解を深めるとともに、骨への力学的負荷の減少に伴う骨密度の低下（骨粗鬆症など）の原因究明に役立つことが期待される。

「高橋夏大さんのコメント」
このたび、自身の研究成果を英語の論文として発表できたことは、人生の中で最も嬉しい経験となりました。歯学部2年次の実習研究入門で基礎研究の面白さを知り、4年次からMEdD Doctorプログラムを履修して、本格的な研究が始まりました。歯学部の授業や試験との両立はとて大変でしたが、メダカの稚魚を見ることができては毎日研究室に通いました。まだ2年半という短い期間しか研究していませんが、歯科を含む生命科学に対する視野が大きく広がり、将来の進路を考える良い機会にもなりました。これから



左から高橋夏大さん、茶谷昌宏講師

医学部6年 横塚紳之介さんの英語症例報告が呼吸器系国際誌に掲載

横塚紳之介さん（医学部6年）の英語症例報告「A case of epithelioid cell granuloma arising at the margin of lung resection, with high accumulation on 18F-fluorodeoxyglucose-positron emission tomography (18F-FDG-PET)で高集積を示した肺切除断端に発生した類上皮肉芽腫」が呼吸器系国際誌「Respirology Case Report」に掲載された。

横塚さんは昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター（呼吸器外科）の植松秀護講師の指導の下、2020年12月に医学部5年次のクリニカルクラークシップ（診療参加型臨床実習）を行った。その際の症例をまとめ、第一著者として本論文を発表した。また論文掲載に先立ち、第185回日本胸部外科学会関東甲信越地方会で発表し、奨励賞を受賞した。

本論文は、癌診断におけるPET検査の偽陽性の問題をテーマにしたもの。PET検査は、病変に取り込まれるブドウ糖の割合を利用して画像検査で、多くの疾患で診断および治療に利用されている。特に肺癌の診断においては、診断および治療方針決定に重要な検査となっている。一方で、PET検査には、検査結果では肺癌を疑うが、実際は肺癌ではないという、癌診断における偽陽性の問題がある。本報告は、この臨床面また教育面にも役立つことが期待される。



左から植松秀護講師、横塚紳之介さん

ポロシャツ販売

自動車保険取扱

ふるさと納税

国内海外出張手配

カタログ景品手配

富士吉田の天然水販売

公的研究費請求手続き

酒類販売

昭友商事株式会社 3784-8280

第61回旗ヶ岡祭開催

第61回旗ヶ岡祭(大学祭)が10月9日・10日の2日間、オンライン配信と対面開催(事前予約制)を併用したハイブリッド形式で開催された。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったが、今年は旗ヶ岡祭実行委員会をはじめ、学生たちの熱意が結実し、1年越しの開催が実現した。

今年のテーマは「SAI(祭・彩・再)」。様々な団体の個性が混ざり合う華やかな大学祭を開催したいという思いが込められている。また、サブタイトルの3つの文字はその願いと決意を表している。

当日は、吉本興業の芸人による「お笑いライブ」をはじめ、有志バンドや軽音部による演奏、毎年人気の「昭和大学名人会」(寄席)等のイベントがライブ配信と一部対面形式で行われた。また同期間、医学部附属看護専門学校がオンラインで開催され、「Present」をテーマに、正しい手洗いの方法や、マスクとフェイスシールドの違い、効果など、コロナ禍に役立つ情報等を交えた看護学生らしい企画動画が配信された。

旗ヶ岡祭を終えて

第61回旗ヶ岡祭実行委員会 委員長 川崎 萌子さん(薬学部4年)

第61回旗ヶ岡祭が10月9日と10日の2日間で開催されました。今年度は「SAI(祭・彩・再)」というテーマを掲げ、4月から実行委員一同準備を進めて参りました。

昨年は新型コロナウイルスにより中止となつてしまつた旗ヶ岡祭ですが、今年度も通常開催とはならず、オンライン配信と対面開催を融合した形式となりました。初めてのオンライン配



作業風景



作業風景



幹部集合写真



実行委員集合写真

旗ヶ岡祭開催につきましてご協力頂いた関係者の皆様、そして会場やオンライン配信で観てくださった皆様、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

旗ヶ岡祭開催につきましてご協力頂いた関係者の皆様、そして会場やオンライン配信で観てくださった皆様、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



「いのちの授業」の様子

11月5日、品川区立第二延山小学校において、第二延山小学校および清水台小学校の第5学年の児童を対象に医療系の仕事を紹介する授業を行った。例年は体験学習として実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、授業の実施となった。

本学からは4名の職員が赴き、「医師の仕事って?」「(医学部)薬理学講座...木内祐二教授」、「歯医者さんってなにしてるの?」「(歯学部)小児成育歯科学講座...杉山智美講師」、「薬剤師のひみつ」(薬学部)薬理学講座...細田修一准教授、「看護師ってどんな仕事?」(医学部)附属看護専門学校...塩川優子

第二延山小学校および清水台小学校の児童に医療系の仕事を紹介

昭和大学各附属病院へのご支援の御礼

新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者に対して、多くの皆様から労いのお言葉や心温まるご支援を頂戴しております。お心遣いに深く感謝申し上げます。

現在、本学各附属病院では、医師、看護師の他、多くのスタッフが治療や院内感染防止に丸となって取り組んでおります。今後も私たちは皆様からのご支援を力に変え、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。

皆様からのご支援に対し、重ねて御礼申し上げます。

ご支援くださった方々
 (一般の方) 荻窪 俊宏 様 / 上杉 恵己 様 / 匿名希望 様
 (企業・団体) サッポロビール株式会社 様
 柏木 一了 様ほか(キャディ有志の皆様)

ご支援の内容
 不織布マスク / ZERO GELクッション / 食料 / 雑誌 / お菓子
 ※順不同 11月24日時点

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

昭和大学病院への寄付
【父 母】 具志堅 直樹 様
【一 般】 匿名希望 様

昭和大学附属烏山病院への寄付
【同 窓】 医療法人 高仁会 理事長 高橋 太郎 様(医学部・65回生)

各クラブ・学生会への寄付
【同 窓】 医療法人 高仁会 理事長 高橋 太郎 様(医学部・65回生)

創立100周年に向けてへの寄付
【同 窓】 小口 勝司 様(医学部・43回生) / 菊池 隆一 様(医学部・42回生)

大学主催行事への寄付
【同 窓】 ろろおか整形外科 様(医学部・61回生)

昭和大学リカレントカレッジ 秋期プログラム開講

リカレントカレッジ秋期プログラムでは、専門的な知識の習得から趣味を極める内容まで、12月までに21講座が開講しました。対面・オンライン・ハイブリッド型など、ライフスタイルに合わせての受講が可能となっています。対面時の講座は、主に、今年度7月に竣工した教育研修棟にて、感染対策を行った上で開講しています。

1月からは、2022年度春期講座の募集も始まります。ぜひ、あなたの人生に役立つ新しい知識の色を増やしてみたいはいかがでしょうか。

※問い合わせ
 昭和大学リカレントカレッジ事務局(03-3784-8143)
 リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。次号では、2022年度春期プログラム受講生募集のお知らせを掲載します。



漢方や薬膳の実践ができる、本格的な講座もあります



足の悩みを解消する、オリジナルの中敷き作りに挑戦します

就任のお知らせ (11月9日 理事会承認)

 岩淵 成祐 前：医学部眼科学講座担当 教授(員外) (勤務地：昭和大学江東豊洲病院外科系診療センター(眼科)) 任命日：令和3年12月1日	 山本 滋 現：医学部外科学講座(呼吸器外科学部門) 担当 准教授 (勤務地：昭和大学江東豊洲病院外科系診療センター(呼吸器外科)) 任命日：令和3年12月1日
 眞野 英寿 現：医学部リハビリテーション医学講座担当 准教授 (勤務地：昭和大学江東豊洲病院内科系診療センター(リハビリテーション科)) 任命日：令和3年12月1日	 山本 滋 現：医学部外科学講座(呼吸器外科学部門) 担当 准教授 (勤務地：昭和大学江東豊洲病院外科系診療センター(呼吸器外科)) 任命日：令和3年12月1日

あなたの人生に、
「かかりつけ」の
安心を。

日本調剤

日本調剤株式会社 東京都千代田区丸の内1-9-1 http://www.nicho.co.jp/